国立医学図書館（仮称）と日本医学図書館協会

Establishment Plan of “Japanese National Medical Library” and the Japan Medical Library Association.

東京医科大学図書館

菅 利 信*

Abstract: The Japan Medical Library Association has proposed setting up a National Medical Library (tentatively named) for many years. Here a reviewed its progress and backgrounds.

はじめに

日本医学図書館協会が、国立医学図書館（仮称）又は国立医学文献センター（仮称）の設立運動を始めたのは、去る昭和39年の広島大学で開催された第35回日本医学図書館協会総会の時からである。第35回の総会提出協議議題は「医学文献情報センターの設置について」であった。その後も総会で、この協議議題は何回か検討され、昭和42年の第38回総会（久留米大学）「国費による医学文献情報センターの設置について」、昭和47年の第43回総会（大阪府立大学）「医学文献資料センター（仮称）の設置について」、昭和48年の第44回総会（福島県立医科大学）「国立生物医学図書館（仮称）の設立について」、昭和52年の第48回総会（順天堂大学）では、「国立医学図書館設立のための特別推進委員会を設置する件」がそれぞれ提出され承認されている。なお、現在（昭和54年）日本医学図書館協会は日本学術会議に対して「国立医学図書館」の設立を強力に働きかけており、すでにその運動は15年の歳月が過ぎようとしている。

以下に、前出の総会で協議された国立医学図書館構想の背景を各総会ごとに述べてみる。

I 第35回日本医学図書館協会総会

第35回総会当時、何故「医学情報文献センターの設置について」の協議議題が提出された理由は、その背景にメドラーズの導入問題があった。それは当時メドラーズを導入するには国費による医学文献情報センターを設置し

て導入するのが妥当であるとの考えから提案されている。この提案が提出された時に文部省の列席者は学術会議への働きかけが必要であると言っている¹⁾。

II 第38回日本医学図書館協会総会

この提案背景には、医学文献情報を速かに研究者に周知させることがねらいで、当時の情報活動を一刻でも早く促進させるためにとの含みもあった²⁾。第38回総会は日本医学図書館協会創立40周年記念総会でもあり、40周年記念としての協議議題の意味もあったのではなかろうか。この総会の後に、日本科学技術情報センター（JICST）がメドラーズを我が国に導入することを決定している。日本科学技術情報センターがメドラーズの導入に踏みきったのは、入力ロードの軽減のメリットのみではなく国内サービスの基本ネットワークとして40年の歴史を有する日本医学図書館協会を考えたからであるといっている³⁾。

III 第43回日本医学図書館協会総会

第43回総会での提案背景には、情報量の増大に反比例して国立大学では定員の削減がおこなわれており、このような状況では情報収集は困難になるとの考えから、医学文献資料センター（仮称）を設置するようにとの提案であった⁴⁾。この提案の中に昭和44年の科学技術会議に対する内閣総理大臣の諮問第4号「科学技術情報の全国的流通システム」いわゆる「NIST」構想と医学文献資料センターとの関わり合いが全然ふれていないのはどうしたことであるのか疑問に思う。「NIST」構想が答申されてから、科学技術庁は昭和45年から2カ年にわたり

* Toshinobu SUGA: Tokyo Medical College Library

（昭和54年5月31日 受理）

「NIST」の総合的機能分析を行っている⁵⁾。

Ⅳ 第44回日本医学図書館協会総会

この総会では、国立生物医学図書館（仮称）の設立を提案している⁶⁾。どういう理由でこれまで総会に提案されてきた医学文献情報（資料）センターの名称がこの総会で生物医学図書館に変更しなくてはならないのか第44回の議事録を読んでみても内容が抽象的でとらえることは不可能である。そのためかどうかかわからないが、昭和49年7月の日本医学図書館協会の評議員会では国立生物医学図書館の生物をとり国立医学図書館（仮称）の設立に力を入れることにしたと報告されている⁷⁾。この点が当時文部省の担当官からも、日本医学図書館協会は一体国立のどういうセンター或いは図書館を設立してほしいのか明確ではないので、十分に的をしばって要望してはどうかと、日本医学図書館協会の姿勢に疑問をなげかけていた。

Ⅴ 第48回日本医学図書館協会総会

第48回総会では、国立医学図書館（仮称）設立のための特別推進委員会を設置する件が提案され承認されているが、総会終了後の翌年3月には会長の辞任（勤務先大学の定年のため）、会長代行の就任という協会人事の変動があり設立運動のための特別推進委員会を発足させないまま昭和54年を迎えるに至っている。第48回総会に何故この協議題が提案されたのか、第48回総会は、日本医学図書館協会の創立50周年にあたり50周年記念にもう一度過去の提案を振り返り国立医学図書館設立を強力に推進しようというねらいがあったことも確かである⁸⁾。しかし前述の理由で現在までできていないことは、日本医学図書館協会の組織即ち役員人事の任命制度の弱さからきているのである。会長、役員は、ある期間就任していないと強力な推進は不可能である。しかしその間でも会長と担当理事の間では国立医学図書館の設立についての話は度々行なわれてきている。

Ⅵ おわりに

このような状況の間に国内の科学技術情報は、昭和44年の「科学技術情報の全国的流通システム」即ち「NIST」構想がうちだされており、さらに昭和53年12月に科学技術情報活動推進懇談会会長より国務大臣 金子科学技術庁長官宛に「科学技術情報活動推進の目標と施策について」の報告が出されている。その報告の中で、種々の専

門センターの整備として国民生活の保護に直接関わるの深い分野として医療専門センターの設立の必要を述べている⁹⁾。日本医学図書館協会が過去15年にわたり協議題としてとりあげてきた、いわゆる国立医学図書館或いは医学文献情報センターとこの構想とが内容的に同じものであるのかはこれからの検討する課題であるが、このような案が報告されていることはこれからの設立運動に大きな力となるものと思われる。日本医学図書館協会に関係深い津田氏が、我が国の科学技術情報サービスの分野で、最も進んでいるとされている日本科学技術情報センターでも自然科学全般を生物、医学系まで含めて取扱うのは全く無理なことであり、この点情報活動の先進国であるアメリカ合衆国では医学分野は国立医学図書館（NLM）を中心としたネットワーク、生物学ではBIOSIS、化学ではCASといった各主題分野のネットワークを作りその間を連絡している。又、全国的に総合的な科学技術情報活動を行っているソ連でも、全ソ科学技術情報研究所 VINITI で扱っている医学部門は医学関連基礎部門のみでこの他に、医学分野の図書館活動の中心である国立中央医学図書館と、医学分野の文献情報活動及び二次資料作成活動を行っている全ソ科学技術情報研究所 VNIMI が、医学部門を担当しており、現在の科学分野の情報要求は、宇宙開発、大気汚染、都市開発のような従来の学問分野の枠をこえたいわゆる Mission Oriented 或いは Problem Oriented といった問題別の情報要求が増加している、そのために従来の学問分野別の図書館や、その他の情報サービス機関の形では無理であり、特定の問題についての情報サービスは専門センターを設置して行うべきであると述べている¹⁰⁾。又、日本医学図書館協会で長い間事務局長をされた裏田氏も、我が国情報政策の基本的視点として国立国会図書館の他に専門的国立図書館（たとえば、アメリカの国立医学図書館、国立農学図書館、あるいは、イギリスの大英図書館傘下のいくつかの専門図書館）を置く必要があるのではないか、そして同じように日本科学技術情報センターを総合センターとして位置づけ、とくに国民生活に関わり深い分野で専門センターを設けるべきではないかと述べている¹¹⁾。これらのことは、これからの国立医学図書館設立運動に大きな示唆を与えてくれるのではなからうか。又、現在行っている設立運動も近いうちに今までの運動経過を報告できると思う。

参 考 文 献

- 1) 第35回日本医学図書館協会総合議事録, 1964

- 2) 第38回日医学図書館協会総会議事録, 1967
- 3) 小林 胖: 医学情報ネットワークにおける日本科学技術情報センターの役割と可能性, 医学図書館 15(3), 211—215, 1968
- 4) 第43回日本医学図書館協会総会議事録, 1972
- 5) 裏田武夫: NIST 構想と医学図書館, 医学図書館 16(2), 112—159, 1969
- 6) 第44回日本医学図書館協会総会議事録, 1973
- 7) JMLA 会報, No. 27, 7—8, 1974
- 8) 第48回日本医学図書館協会総会議事録, 1977
- 9) 科学技術庁振興局: 科学技術情報活動推進の目標と施策について～科学技術情報活動推進懇談会報告～日本ドクメンテーション協会, 1979
- 10) 津田良成: 医学情報ネットワークと日本医学図書館協会, Library and Information Science, 9, 343—359, 1971
- 11) 裏田武夫: 図書館・情報政策の基本問題, 図書館雑誌, 73(5), 236—238, 1979